

[地区運営方針]

(1) 会員の姿勢 《適応力を高める》

① ノーブレス・オブリージュを自覚

ロータリアンは選ばれたものであるという誇りをもつ者であり、
奉仕活動は選ばれた者の義務である

② 二つの奉仕理念（決議23-34）の尊重

- ・超我の奉仕（Service Above Self）
- ・最も良く奉仕する者、最も多く報いられる

（One profits most who serves best）

③ ロータリーの目的と職業奉仕の理念〔四つのテスト〕の徹底

ロータリーの目的

- 第1 知り合いを広めることによって、奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い論理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、
社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、
日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、
親善、平和を推進すること。

職業奉仕の理念〔四つのテスト〕

言行は、これに照らしてから

- 1、真実か どうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるか どうか

- ④ ロータリーの中核的かつ普遍的価値観の共有
(奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ)
- ⑤ ロータリーの新ビジョン声明の理解と徹底
- ⑥ 地域で業種を代表する職業人の自覚を持ち、ロータリーバッジに誇りを
- ⑦ 寛容の精神で友情を大切に

(2) クラブ中心 《私たちの基盤を広げ、参加者の積極的な関わりを促す》

- ① クラブの主体性を尊重し、ロータリーの基本、魅力、アイデンティティ（強み）を再構築する
それが会員増強の決め手になります
- ② クラブ戦略計画の立案と実行（3年～5年の長期戦略計画）
- ③ 親睦の場、人間形成の場、修養の場として例会の活性化を奨励し、出席率の向上（90%以上）をめざす
- ④ 会員増強：既存の会員数を維持しつつ、女性会員や40歳未満の会員の入会、シニア層やローターアクトのロータリークラブへの入会を促し、会員の増強を図る
- ⑤ ロータリーへの認識を高めるため、「世界を変える行動人」キャンペーンを促進する
(ソーシャルメディア〔SNS〕でクラブの奉仕活動の情報を発信する)
- ⑥ ロータリーとポリオ撲滅活動運動への募金、さらに意識向上を目的とした行事を開く
(世界ポリオデー 10月24日)
- ⑦ インターアクトクラブやローターアクトクラブを提唱、あるいは共同提唱する
- ⑧ 会員の家族や青少年プログラムの参加者、さらに地域社会の人たちが参加できる家族的な奉仕プロジェクトを実施する（家族をつなぐ）
- ⑨ 他団体との共同奉仕活動によって、地域社会へのロータリー認知度向上を図る
(ロータリーショーケースへの投稿を奨励する)

- ⑩ 新しいロータリークラブのスポンサー、ロータリー地域社会共同隊の共同スポンサーとなる
- ⑪ 企業、政府団体、非政府団体とのパートナーシップを継続しつつ確立し、各種のプロジェクトに協力する
- ⑫ My Rotary 登録を推進して、会員の60%以上の登録を要請し、ロータリー情報の取得・発信に活用することを奨励する（特に、入会5年以内の会員は登録率100%をめざす）
- ⑬ ロータリーの各種研修セミナー、地区大会、世界大会への積極的参加
（地区大会参加者目標 3000名、国際大会参加者目標 300名）
- ⑭ クラブリーダー育成のため、青少年育成プログラム、RLI 研修への参加者を増加させる
- ⑮ ロータリーの公共イメージと認知度の向上
（マスメディア、地区広報機関、SNS等で推進）

（3）地区目標 《より大きなインパクトをもたらす》

- ① 時代の変化に適応すべく、組織の構造と文化を進化させなければなりません。
そのために、クラブや地区内のリーダーの積極的参加を促すシステムを強化する
- ② ポリオ撲滅活動においてロータリーとロータリアンが果たしている役割を広く伝える
（世界ポリオデー 10月24日）
- ③ 地区財団活動資金（DDF）を十分に活用して、地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターの資金とし、地域社会や海外でのプロジェクトを増加させる
- ④ インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブ会員間ならびに各種ロータリー活動の参加者間の積極的参加・協力体制を強化する
- ⑤ インターアクトクラブ、ローターアクトクラブの新設と会員増強を支援する
- ⑥ 新しいクラブを結成する
（衛星クラブ、地区学友会〔ロータリーフェローズ2650〕クラブ、職場内クラブ等、柔軟性を生かした新クラブの設立）

- ⑦ I M (インターシティ ミーティング) の理念の確認と再編 (5組から6組へ)
- ⑧ 地区研修協議会 (4月20日) の登録料の無償化
- ⑨ 平和フェロシップ委員会の新設 (財団奨学金委員会に組み入れる)
- ⑩ 会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ、自己研鑽、専門能力開発プログラムなどを開発あるいは継続する
- ⑪ 年次基金とポリオプラスへの寄付を増やしつつ、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルまで成長させる

・ロータリー財団等への支援

- ・ロータリー財団への寄付 (1人当たり180ドル以上)
- ・ポリオプラスへの寄付 (1人当たり30ドル以上)
- ・米山奨学金への寄付 (1人当たり24,000円以上)
- ・ロータリー希望の風奨学金への寄付 (会員1人当たり5,000円以上)

(4) 地区管理運営 《効率化、簡素化、合理化》

- ① 会員の目線を踏まえたサービスを徹底して、地区運営への会員の満足度を高める
- ② 効率的地区運営により、クラブへの経済的負担の軽減に取り組む
- ③ ガバナー事務所とエレクト事務所の一体運営によって効率化をはかる
- ④ 地区委員会組織の見直しにより、地区運営の最適化をはかる
- ⑤ 地区委員会相互の連携をはかり、クラブに対する支援を向上させる
- ⑥ 地区委員会の委員構成を見直し、委員会の活性化をはかる